

年 組 ( ) 名前

サイン



◆北海道むかわ町で、特産のシシャモが  
たくさん干される季節になりました。

太平洋に面した北海道むかわ町で、特産のシシャモのすだれ干しが最盛期を迎えている＝写真、佐々木紀明撮影＝。「カネダイ大野商店」の軒先には、10匹ずつヨシの茎に刺されたシシャモがずらりと並び、訪れた客が買い求めている。

ふっくら 食べ頃

今年の漁は10月4日に解禁されたが、鶴川漁協によると水揚げ量は少ないという。大野秀貴

社長(47)は「脂が乗っていて、特に雌は卵と身のバランスがいい」と話している。漁は11月中旬までの予定。すだれ干しは下旬まで行われる。



(2021年11月2日  
読売新聞夕刊より)

※先生やおうちの人といっしょに読みましょう。

【1】干してある魚の名前を書きましょう。

--	--	--	--

【2】この写真が撮影された場所の都道府県の名前を書き、白地図に色をぬりましょう。

--

【3】あなたが知っている魚の名前をできるだけたくさんうらに書きましょう。



年 組 ( ) 名前

サイン

# イスラエルに「杉原千畝広場」

**世界** 中東のユダヤ人国家イスラエルに11日、日本人の名前を冠した「チウネ・スギハラ広場」ができた。第2次世界大戦中に大勢のユダヤ人を救った杉原千畝さんをたたえたものだ。どんな人で、何をしたのだろうか――。

## ■ 迫害されるユダヤ人

第1次世界大戦に敗れたドイツは経済が疲弊し、1933年にはヒトラー率いるナチ党が政権を握った。

ナチス・ドイツは、ユダヤ人を劣った民族とみなし、「戦争に負けたのはユダヤ人のせいだ」と主張して迫害した。これが、約600万人ものユダヤ人を虐殺し、「人類史上最悪の犯罪」と呼ばれるホロコーストだ。

ナチス・ドイツは39年、ポーランドに侵攻し、第2次世界大戦が始まった。ポーランドには人口の1割を占める約300万人のユダヤ人が暮らしていたが、西半分をナチス・ドイツに、東半分をソ連に支配され、多くのユダヤ人がとなりのリトアニアに逃げ込んだ。

## ■ 命令背き「命のビザ」

その頃、リトアニアの日本領事館を任されていたのが、外交官の杉原さんだ。

杉原さんは、ポーランドから逃げてきたユダヤ人がアメリカなど安全な国に脱出できるよう、日本やソ連を通過できるビザを発給した。

## ユダヤ人避難民の脱出経路



実は、日本政府はナチス・ドイツと手を組んでいたこともあり、ビザの発給を認めていなかった。しかし、杉原さんは「人道上、拒否できない」と命令に背いた。

さらに、ソ連の圧力で領事館が閉鎖され、リトアニアを離れるために列車に乗り込んだ後も一人でも多く救おうと「命のビザ」を出し続けた。その数は判明分だけで2139枚。約6000人も命を救ったのだ。

杉原さんは戦後、外務省を退職さ

せられた。命令に背いてビザを発給したからとも言われている。

## ■ 式典に四男出席

今回の広場は、杉原さんのビザに救われた人々とその家族の要望で作られた。11日の式典には四男・伸生さんが出席し、「当時を生き延び、イスラエルにたどり着いた人々の子孫が父を覚えてくれるのは素晴らしい」と語った。

◆第2次世界大戦中にヨーロッパで大勢のユダヤ人を救った外交官、杉原千畝さんをたたえる広場が、イスラエルにできました。  
(2021年10月22日 読売中高生新聞より)

**ビザ** 外国を訪(おとず)れる際(さい)に、相手国が入国を受け入れることを約束(やくそく)した証明書(しょうめいしょ)。「査証(さしょう)」とも言う。

【1】杉原さんはどこの国の日本領事館を任されていましたか。

【2】杉原さんがユダヤ人のために行ったことを書きましょう。

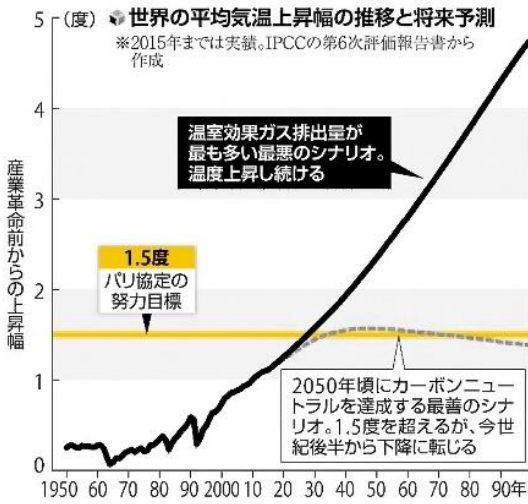
【発展問題】杉原さんは「東洋のシンドラー」とも言われています。シンドラーについて調べ、わかったことを裏に書きましょう。

年 組 ( ) 名前

サイン

◆ 地球温暖化対策を議論する国連の気候変動枠組み条約第26回締約国会議 (COP26) が11月12日まで、英国北部のグラスゴーで開かれています。

Q-IPCC報告書



COPで気候変動問題を議論する際に科学的な根拠とされるのが、国連の「気候変動に関する政府間パネル (IPCC)」が数年前に公表する報告書だ。

IPCCは、地球が温暖化しているのか否か、人間の活動が温暖化の原因か否かを巡って論争が続いたことから、世界気象機関と国連環境計画が1988年に設立した。三つの作業部会から成り、現在は195か国・地域の科学者らが参加する。独自の研究はせず、世界中の研究成果を基に科学的に妥当な見方を判断し、報告書にまとめる。

90年に公表された第1次

20年以内に「1.5度上昇」

第6次評価報告書は、今年ノーベル物理学賞受賞が決まった真鍋淑郎・米プリンストン大上席研究員(90)も執筆。直近では今年8月、第1作業部会が第6次評価報告書を公表し、温暖化の原因が人間活動であることは「疑う余地がない」と初めて断定した。

第6次評価報告書は、各国が温暖化対策に取り組みレベルに応じて五つの将来シナリオも提示。気温の上昇幅について、全シナリオで今後約20年以内に産業革命前(1850-1900年の平均)と比べて1.5

温暖化議論の科学的根拠に

異常気象についても推計し、産業革命前に10年に1回だった「高温」の頻度は1.5度上昇すると4・1回に増える、などと予測。世界に警鐘を鳴らしている。

「疑う余地がない」と初めて断定した。

度には達するとの厳しい結果となった。ただし各国が2050年頃にカーボンニュートラルを達成する最善のシナリオでは、今世紀後半から下降に転じるとも推計した。

地球温暖化対策を議論する国連の気候変動枠組み条約第26回締約国会議(COP26)が31日から11月12日までの日程で、英国北部のグラスゴーで開かれる。先進国は各国の温室効果ガス削減目標の大幅な上積みを目指す。新興国との温度差は大きい。COPを巡るこれまでの経緯や最新の科学的知見を踏まえながら会議を展望する。

温暖化で「10年に1回」の極端な気象が起きる頻度

	産業革命前	1度上昇 (現在)	1.5度上昇	2度上昇	4度上昇
高温	1回	2.8回	4.1回	5.6回	9.4回
大雨	1回	1.3回	1.5回	1.7回	2.7回
干ばつ	1回	1.7回	2.0回	2.4回	4.1回

※IPCC第1作業部会の第6次評価報告書から

(2021年10月31日 読売新聞朝刊より)

【1】IPCCは何の略でしょうか。

--	--	--	--	--	--	--	--

【2】現在と、パリ協定の努力目標となっている気温上昇幅を下の表に記入し、それに達した場合に起こると予測される高温や大雨、干ばつの回数も書きましょう。

	産業革命前	現在	パリ協定の努力目標
気温の上昇幅	0度		
高温	1回		
大雨	1回		
干ばつ	1回		

【3】日本やほかの国がカーボンニュートラルに向けて取り組んでいることを調べ、裏に書きましょう。

ウミガメ産卵地 キレイに

★★★★

サイン

年 組 ( ) 名前

◆神奈川県小田原市の小学生が、「ウミガメが卵を産めるように」と、学校近くの海岸の清掃に取り組んでいます。

ウミガメ産卵地キレイに

小田原市の市立山王小学校は今年度、近くの山王海岸で、清掃活動「ウミガメが来る浜づくり」を始めた。2018年に同海岸で産卵・孵化が確認されたのがきっかけで、「また産卵に来てほしい」と全校児童が毎月1回、ウミガメが好物のクラゲと間違えやすいプラスチックごみを拾い集めている。

(大須賀 軒一)

4年生は3年前の夏、地域住民が見つけたウミガメの産卵の跡を調査に来た水族館スタッフが、砂の中の卵約150個と孵化した子ガメ数匹を確認した様子を見学していた。それだけに、清掃活動にかける思いは強い。

ウミガメとの再会を願う鈴木志歩さんは「子ガメはかわいかった。食べると死ぬかもしれないので、プラスチックごみを海に捨てないで」と訴える。朝倉海音さん(6)も「みは世界の問題。他の生物や人間のためにも海をきれいにしたい」と話す。

9月半ば、校舎東側に広がる砂浜で、軍手を着けてごみ袋を持った児童約18人が清掃活動を行った。本来は全学年一斉だが、緊急事態宣言発令中だったこともあり、学年ごとに時間をずらして実施した。細かく割れたプラスチック片やポリ袋、食品トレーに空のペットボトル。各学年が約20分ずつ集めたごみを学校に持ち帰ると、軽トラック1台分の量になった。4年山田結菜さんは「きれいだと思うけど、掃除がとめて汚れていた。掃除を続けて、ウミガメが来られるようにしたい」と話す。

市と同校が協力する、市内の海岸ではかつてウミガメが産卵していたが、1960年代後半頃から激減。市環境保護課によると、過去10年間で産卵目的とみられる上陸はわずか3回で、孵化が確認されたのは2018年の1回だけだった。

同校は19年度以降、ウミガメの再来を願って定期的に海岸清掃を続けた。18年に孵化を児童と見守った堀賢一郎校長(59)は「実体験のある4年生の清掃は真剣なもの。ウミガメと海岸は生きた教材と教室になっている」と話す。

海岸で3年前に確認されたウミガメの卵(山王小提供)



砂浜に散乱するプラスチックごみを拾う児童ら(小田原市で)

同校は19年度以降、ウミガメの再来を願って定期的に海岸清掃を続けた。18年に孵化を児童と見守った堀賢一郎校長(59)は「実体験のある4年生の清掃は真剣なもの。ウミガメと海岸は生きた教材と教室になっている」と話す。



12 つくる責任 つかう責任

14 海の豊かさを守ろう

(2021年10月8日 読売新聞神奈川版より)

【1】児童たちが集めたごみはどのようなものでしたか。

【2】プラスチックごみを集めると、なぜウミガメのためになるのですか。理由を書きましょう。

【発展問題】海のプラスチックごみを減らすために、どのようなことを気をつけられれば良いでしょうか。話し合ってみましょう。また、あなたがまだ気をつけていることがあれば、裏に書きましょう。



年 組 ( ) 名前

サイン

(2021年10月18日 The Japan Newsより)

◆色の違う稲穂で図柄が描かれた埼玉県行田市の「田んぼアート」。実った米の収穫が始まりました。

## Artisanal rice harvest

The autumn harvest began on Saturday at the site of rice paddy art in Gyoda, Saitama Prefecture, where Mt. Fuji, white-crested waves and a kabuki actor had been depicted using four different colored grains of rice in fields covering the 2.8-hectare area. About 150 people selected from the public joined in and harvested Sai-no-Kagayaki, a prefectural brand of rice.

The rice paddy art had been planted for the first time in two years, after being canceled last year due to the coronavirus. A 50-meter-high observation room overlooking the entire area has been visited by about 70,000 people since the rice was planted in June.

The remaining picturesque fields are slated to be harvested in mid-November.



The Yomiuri Shimbun  
A kabuki actor rendered in four colors of rice grain is seen in Gyoda, Saitama Prefecture, on Saturday.

【1】田んぼアートの図柄には、歌舞伎役者以外にどのようなものがありますか。英語で書きましょう。

【2】2.8ヘクタールは何アールですか。英語で書きましょう。

【3】田んぼアートの残りはいつ刈り取る予定ですか。英語で書きましょう。

artisanal: 職人ワザの、harvest: 収穫、paddy: 水田、white-crested waves: 白波、actor: 役者、depicted: 描かれている、grains of rice: 米の種類、hectare: ヘクタール、selected from the public: 公募で選ばれた、joined in: 参加した、prefectural brand: 県のブランド、planted: 植えられた、for the first time in two years: 2年ぶり、due to ~: ~のために、coronavirus: コロナウイルス、observation room: 展望室、overlooking: 見下ろす、entire: 全体の、picturesque: 絵のように美しい、are slated to ~: ~することになっている、render: 描写する